

# 2022年度 事業計画



高松空港株式会社

# 2022年度の事業取り組み

## 事業方針

- 2021年度を通じ、昨年度からのCOVID-19感染拡大に伴う旅客数の大幅な減少により、大変厳しい経営環境が継続しております。
- 当社では同感染症による影響を踏まえ、**民営化後の成長基盤形成の核となるターミナルビルのリニューアル増改修工事着手を中断しています。**
- 2022年度は、現状を踏まえ、**まずはコロナ禍以前の旅客数水準へ早期に回復**できるよう、当社にて出来ることを着実に進めて参ります。
- **安心・安全の空港運営を行うとともに、アフターコロナ期の事業成長に向け、引き続き地域や関係各所との連携と、空港活性化に資する取組みを継続する所存です。**

## 主要計数項目(※1)

| 項目                     | 2022年度想定<br>(単位:百万円) |
|------------------------|----------------------|
| 営業収益                   | 1,263                |
| 空港運営事業                 | 465                  |
| ビル施設事業                 | 798                  |
| 営業費用(※2)<br>(うち、減価償却費) | 2,492<br>(722)       |
| 内 空港運営事業               | 1,330                |
| 内 ビル施設事業               | 826                  |
| 営業利益(償却前)              | ▲508                 |
| 営業利益                   | ▲1,230               |
| 当期純利益                  | ▲1,217               |

※1 上記事業計画は、2022年度の国内線旅客数118万人、国際線旅客数2万人を前提として作成しているものの、2022年度業績に関しては、COVID-19の収束状況、国内線の復便及び国際線の再開、その他マクロ環境等により大幅に変動することが想定されます。

※2 運営権償却費を含む

| 項目    | 2022年度想定 |
|-------|----------|
| 取扱貨物量 | 0.3万トン   |

# 2022年度の具体取組み

## 旅客数・取扱貨物量の回復

- ・旅客数及び取扱貨物量のコロナ禍前の水準への早期回復に向けた取組み
- ・アフターコロナ期に向けた事業成長に資する活動継続

### 安全・安心な空港運営

- 国際線再開に向けた旅客受入れ体制・運用の整備
- 長期的に安全・安心を確保する実施体制の構築・運用

### エアラインマーケティング

- パートナーシップ協定に基づく自治体と連携した既存路線の回復及び新規路線誘致施策の継続
- 国内チャーター便の誘致強化によるインバウンド・アウトバウンド双方での観光交流促進（北海道、東北、下地島等）

### 観光プロモーション

- 行政・エアライン・就航先空港等と連携したプロモーション
- 代表企業アセットを活用した首都圏での観光プロモーション

## 利用者の利便性向上

- ・アフターコロナ期に向けた空港施設の活性化策の検討

### 空港の賑わいづくり

- 物販催事等による地域住民に開かれた空港施設づくり
- 利用者の新規需要創出に向けた施策の検討・実施

### 空港アクセスの強化

- 二次交通事業者と連携し、四国・瀬戸内の主要都市・観光地へのアクセス手段の増強および認知向上

## 設備投資計画

- ・空港運営上必要な設備更新・修繕等の着実な実施

### 運営権施設への更新投資

- 総額 約4.9億円
- 内容 航空保安施設等に関する設備更新

### 非運営権施設への整備投資

- 総額 約2.4億円
- 内容 旅客ビル施設等に関する修繕・更新